



楠公の里瓦版

第18号 平成25年7月24日

金剛山千早赤阪倶楽部

(連絡先)	西野敏彦	090-6326-0497
	奥田佳三	090-5040-1923
	辰巳 晃	090-3973-2931
(編集)	細井戸伯博	

〔半夏生〕(はんげしょう)

七十二候の1つ「半夏生」(はんげしょうず)から作られた暦日で、かつては夏至から数えて11日目としていたが、現在では地球上の黄経100度の点を太陽が通過する日となっている。毎年7月2日頃にあたる。

(Wikipediaより引用)



取材風景



草取り



「流しそうめん」



「あかねこ餅」

日 報 7月15日(月・祝)曇り時々雨 参加者 24名

参加者 菊井由起子、花坂勝利、奥田佳三、武部広美、新田善久、山本庄一郎、山本知加子、岩山桂、西野敏彦、細井戸伯博、細井戸美紀子、仲谷とも子、藤原みどり、野見山妙子、辰巳晃、吉田純子、松田玲子、石田新、藤田憲一、正木信子、津村ちる子、江角美榮子、笠脇敏広、河本房江

- 作業行程
- ① 雑誌「関西ハイキング」の取材を受ける
 - ② 「そば畑」の草取り・間引き
 - ③ 二河原邊集会所前で「そうめん流し」

9時に二河原邊集会所に集合し、雑誌「関西ハイキング」(山と溪谷社)の取材を受ける為に二河原邊小屋に向かいました。その後、先月に引き続き「そば畑」の草取りと間引き作業を行い、お昼には、二河原邊集会所前で「そうめん流し」を行い、郷土食の「あかねこ」を頂きました。

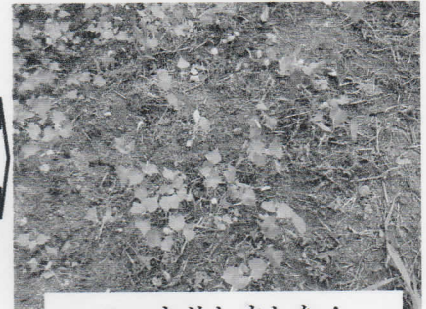
曇り空のもと、食事班と草取り部隊にわかれいざ出発です。先月に種を蒔いたソバ畑の雑草に唖然！！どこから手を付けたらいいのやら……。でも元気印の皆の汗と努力で少しは見られるように成りました。お昼は私にとって初体験の「そうめん流し」最高においしかったです。準備をされた方々の御苦労に感謝。それに「赤ねこ餅」手間をかけた郷土の伝統料理とか、食べながら幸せもかみしめました。このクラブに参加させて頂き、皆様と共に成長できたらとの思いで一杯です。有りがとう、そしてご馳走様でした。記：正木信子（門真市）



雑草がいっぱい！



皆で草取り、間引き



スッキリしました！

久しぶりの千早赤阪倶楽部！「そば」はどうなっているかナッ?? ワクワクしながら到着、最初にまいた畑がかわいい白い花をさかせていました。「ヤッタ〜」収穫が楽しみです。今日は「ソーメン流し」と言う事ですが、働かなければ……。いただけない? ということで、さっそく先月種まきをされた畑にむかい、草取りと間引きをしました。「そば」は大きく育ってるのやらヒョロヒョロ元気のないものもありました。「間引き」という作業はとてむづかしく、ここまで育ったのに……。と、なかなか私には出来ませんでした。「ソーメン流し」サイコウ!!みなさまありがとうございました。記：藤原みどり（高槻市）

久しぶりに、村に伝わる郷土食「あかねこもち」を作る機会に恵まれ、半夏生の時期に、義母がついてくれたおもちを家族で味わったことを懐かしく思い出しました。つきあがったおもちを「美味しい」「初めて食べたわ」などと、賞賛の声を聞きながら、今の季節にぴったりの「流しそうめん」と、賑やかに楽しいランチタイムを過ごしました。倶楽部の一員として、貴重な体験ができたことに心から感謝しています。

「あかねこもち」

麦をひきわりにした粉ともち米を蒸してつき、もちにしたもので、赤みを帯びた色と形が、赤い猫に似ていることから、「あかねこ（赤猫）」と言われていました。半夏生に食べることから「半夏生もち」とも言われます。村では、田植えが終わった喜びを祝い、秋の収穫を願って食べる料理です。

記：山本知加子（二河原邊）

<次回のご案内>

8月25日（日）

今回は、昼食にカレーを用意します。（会費：300円）
参加者は、8月22日までに西野まで連絡下さい。

集合場所 二河原邊集会所

時間 9時集合（*富田林 川西駅 8:30 送迎 出来ます。）

<作業予定>

1. 「そば畑」（約1,500㎡）の手入れ
 - ・7月に引き続きそばの生育状況の確認、草取り作業を行います。
2. ダイトレートの清掃作業
 - ・二河原邊小屋周辺の整備・清掃を行います。